



NPO 金沢杜の里 NEWS

2019.7 No.32



杜の里1丁目東交差点

人とホタル、街と自然が

共存できる杜の里の街



金沢市立杜の里小学校

育友会会長 松本尚子

私は、兼六校区で生まれ育ちました。子供の頃はよく父や祖父と犬の散歩で、田んぼに囲まれた浅野川沿いを歩きました。ホタルが飛び交う季節は、虫かごを持って散歩に行き、虫かごいっぱいにはホタルを捕り、ホタルの優しい光を毎晩のように楽しんでいました。しかし、金沢大学の山間部移転に街は近代化され、自然環境も大きく変化し、浅野川からホタルが消えてしまいました。

それから随分と時は流れ、杜の里の住人となり、せせらぎ通りが幼い我が子との毎日の散歩コースとなり、そして、せせらぎ水路で、大学門前町ホタルの会とNPO金沢杜の里の方々が「ホタル育成活動」の取り組みとして、杜の里小三年生の児童達にホタルの育成・観察・放流をご指導してくださいという事を知りました。ホタルを通じて、地域と学校が一体となって取り組み、その結果、私達が住む杜の里の街に、たくさんの方々が戻ってくる、なんと素晴らしい活動なのでしょう。久しぶりに本物のホタルの光の様子を見る事ができた時、感動で胸が震えました。大学門前町ホタルの会とNPO金沢杜の里の方々には、心から感謝を申し上げます、私も身近な所から環境保全について考えてまいります。

人とホタル、街と自然が共存できる環境がいつまでも続きますように。

ほ ほ ほたるこい♪ あつちのみゝずは
にゝがいぞゝ杜の里のみゝずは あゝまいぞ
ほゝほゝほゝたるこい♪

令和元年度 通常総会開催

- 1 日 時 令和元年6月2日(日) 9:30～10:20
- 2 場 所 金沢市立杜の里児童館
- 3 出席者 72名 (うち委任者45名)
- 4 協議事項
 - (1)議案第1号 平成30年度事業報告及び収支決算に関する件
 - (2)議案第2号 令和元年度事業計画(案)及び収支予算(案)に関する件
 - (3)議案第3号 役員増員に伴う選任の件



理事長挨拶の後、議案第1、2、3号の審議が承認された。

総会終了後、郷土歴史研究家 亀田輝之氏の「若松荘の歴史」についての講演を開催した。

令和元年度 事業の実施事項

1. 特定非営利活動に係る事項

事業名	活動の概要	施策項目
①調査・研究会	街づくり事業を推進するため、調査・研究会及び講演会を実施し、活動の促進を図る。 緑豊かな街づくりを進めるため、地区計画内の建築行為に際し緑化の事前審を行う。	・調査、研究事業 ・地区計画申請の審査 ・講演会の開催 ・街づくり視察研究
②会員拡大	地域環境を保全・育成し、街づくり活動の継承を目的に、各種イベント等に参画・支援し、地域を主体に意欲ある人材を募る。	・会員勧誘 ・地域三大まつりギフト券 ・その他のPR施策
③ニュース(会報)の発行	街づくり活動の案内等の「ニュース」を発行し、会員及び地域住民等に配布する。	・ニュースの編集、発行
④ホームページ開設による情報活動	HPを更新し、街づくり活動の事例等を多くの人に情報公開し、活動の充実を図る。	・HPの維持、管理
⑤まちおこしイベント等の開催及び支援事業	地域や世代を超えた交流によるコミュニティの活性化及び地域の文化活動の継承を目的に、地域団体等が行う「各種イベント」活動に要する経費を助成し、多くの住民が関わることが出来る事業環境の構築に寄与する。	・地域三大まつり ・小学校、児童館イベント ・ミュージアムロード ・自主防災活動 ・金沢マラソン
⑥大学等及び国際交流センターとの交流事業	活力ある大学門前街を永続的に推進していくため、地域住民と大学等及び国際交流センターとの交流に関わる活動の支援を行う。	・学生交流活動の支援 ・国際交流活動の支援
⑦花・緑化推進事業	地域の街並み景観の育成を目的に、会員及び周辺住民等の手による「花いっぱい運動」事業を協働で推進し、緑の愛護と道路沿いに花のある安らぎの環境づくりに寄与する。	・花いっぱい運動 ・セットバック保全整備
⑧自然環境整備保全支援事業	地域の背景を構成する自然環境を次世代に継承するため、浅野川等の河川保護と里山の整備・保全等に係る活動を支援し、自然と共生する暮らしや街づくりに貢献する。	・河川愛護活動 ・里山整備保全活動 ・ホタル育成活動 ・卯辰山クリーンデー
⑨地域美化運動推進事業	地域の快適な沿道環境づくりを目的に、幹線道路の清掃及び公共設備の点検等を会員等と協働で行い、道路の美化推進に寄与する。	・公共設備等の点検整備 ・幹線道路の清掃 ・案内板等の維持管理

2. その他の事業

事業名	事業方針	事業内容
①まちづくり環境整備受託事業	高齢者の住まいづくりを支援するため、私有地の除草及び除雪作業を受託する。	・私有地の除草・除雪 ・樹木の伐採、剪定
②公共設備管理受託事業	東部地域の道路、公園等の清掃及び管理業務を公共施設管理者から受託する。	・公共施設のモニター ・公園等の清掃、管理

2019年4月～6月
まちづくり活動



第1回花苗植付(4月13日)
百合の木坂、楡の木坂、若松地内、ペコニヤ600本



第2回花苗植付(5月11日)
鈴懸坂、ペコニヤ240本



第3回花苗植付(6月8日)
杜の里通り、若松地内、ペコニヤ他390本



緑地小公園除草(毎月)

☆いつも楽しくパズルで頭の体操をさせて貰っています。金沢国際交流会館文化祭でつきたてお餅を美味しくいただいた後で、皆様のご協力だったと知り感謝。

☆毎年、ホテルを見るのを楽しみにしています。育成活動に感謝します。

☆地道な地域活動が、その町の住みやすさをつくりあげていくのだと思います。お互い頑張りましょう。

☆昨年度の通常総会では、イノシシの話しをうかがい大変、驚き勉強になりました。やはり今、被害に困っています。

☆「ふるさと探訪」記のホテルの会の活動に頭が下がります。10年もの間、毎年幼虫を育て、放流されておられるんですね。今年こそは、何としてもホテルの乱舞を見に行きます。

☆若い頃、仕事でよく通った下田上橋、何も気にせずバイクで医王山など出かけていたが、ハネ橋だったとは驚きです。良く見ておけばと悔やんで記事を読みました。他に、そのような場所がないのかしらと思っています。

☆「わが町・探訪シリーズ12」の「ハネ橋だった下田上橋」記事を興味深く読みました。「太鼓橋のような曲線橋を、一目見ようと多くの見物者で賑わったのではないか!!」ということですが、私も本当に、一目見てみたいと思っていました。

☆いつもパズルの難問を解くのが楽しみです。ニレノキ坂という名前を今回初めて知りました。先日、小学校付近の黄色のチューリップがきれいでした。カラフルなお花も良かったですが、一色もまた新鮮な感じがしました。見て楽しませていただいている何倍も陰のご奉仕があることを思い感謝いたします。

☆色のある街 早春、黄色のさんしゅうにはじまり、真っ赤な椿、新入学を迎える色とりどりのチューリップに、プランターの花々。また、梅雨時の色鮮やかな紫陽花など。季節の移ろいの色を感じることできるすてきな街、我が街杜の里を誇りに思います。これからの若い人の力にも期待したいものです。

☆大学門前町ホテルの会の人々の努力によって、ホテルが飛び交う町になりました。見て見たいです。

☆地域の場所を知る事が出来るのと、なにより脳トレになるので、楽しみにしています。

☆いつも「金沢杜の里NEWS」を楽しんで読ませてもらっています。町会の回覧板で回って来るのを楽しみに待っています。「探訪シリーズ」では、写真を見ては「あっ、〇〇のところだ!!」と思いつきながら、興味深く読ませてもらっています。

わが町・探訪シリーズ13 上田上橋と一本橋

田上本町(上田上村)の初めての木造橋は、戦後の昭和26年、農業の渡辺孫次郎氏(明治21年生れ)が私財で造った橋でした。当初は反対した跡継の渡辺秀吉氏と協力して造った橋でしたが、この橋は昭和28年の浅野川の氾濫によって流失し、再び渡辺家の私財によって架けられています。しかし、この橋も翌年の昭和29年流失し、3度目は上田上の村氏によって架けられますが、この橋も流失したと言います。現在のコンクリート橋は昭和47年3月の完成ですが、これは5度目の架橋となります。一般的に村々を結ぶ橋は公共事業費で造られますが、上田上橋の場合、村民だけが利用する橋でした。

かつて、上田上には2本の一本橋が架かっていました。上流の一本橋は上田上橋を渡った五郎谷(小字)や湯涌街道を超えた館町と土清水町に挟まれた田上本町地内に行くための橋でした。一方の下流のオツボ(浅野川右岸の小字)の一本橋は、山側環状線(田上大橋)の約200m上流に架けられていました。この橋は田上本町地内の川向い(小字)の田圃に行くための稲作用の橋でした。

一本橋は大きな杉の丸太を半分に割り、根っこの部分を浅野川右岸の石積み堤防に引っ掛け、細い丸太(松木)で作った二脚を川原に二つ立て、2本の杉の木を二脚の又に載せて連ねる一般的な仮橋でした。川幅の狭いところに一本橋は架けられますが、それでも川原の砂利と石ころの上を歩く必要がありました。一本橋は大雨で流失されないよう、ロープで堤防に繋がれていましたが、一本橋を利用したお婆ちゃんによると『昔は丸太だったので、滑って川に落ちた人もいた。稲をかついで渡るとき、とても怖かったのが忘れない。橋は少しの大雨でも渡れるので、その度に男衆は「ふんどし」姿で川に入り、橋を掛け直した』とのことでした。

藩政時代から上田上橋のすぐ上の堰から取水した用水によって、浅野川左岸の牛首村と上田上村の川向の田圃を潤していましたが、今も錦町・上田上本町生産組合によって管理されています。旭町の「旭用水」の

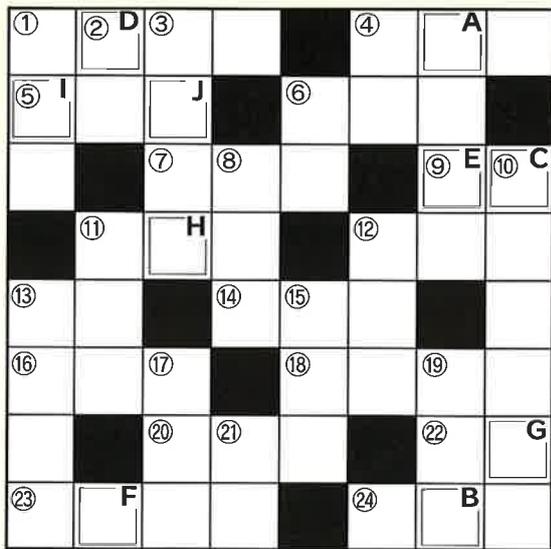


取水はサクラ淵上流の堰によって取水していましたが、平成の浅野川氾濫により川底を深くしたため、現在、上田上橋から取水した農業用水が旭町に流れています。また、上田上橋の約20m下には、犀川から取水した「寺津用水」の余り水が、藩政時代から田上本町地内の五郎谷から浅野川に放流されています。

上田上橋は十間と呼ばれるすぐ下に造られていましたが、十間は浅野川が大桑層の岩場におつかり、深い淵が形成されてきました。十間は水深を表す小字と伝えられていますが、昔は泳ぎ場としてサクラ淵と同じく、子供達には有名な場所でした。昭和47年に犀川道水路取水門が造られ、今は十間も岩場の大桑層も見ることできません。昭和2年(1927)、横山又二郎(東大教授)は大桑層から採集した具化石を学会に報告し、大桑(おんま)と称したことで広く知られるようになったといわれています。横山氏は田上本町の十間から採集した新種に、学名『タウエ ヌノメ ハマグリ』と命名していますが、この「たうえ」は、「田上」を読み間違えたためとされています。横山氏は一本橋を渡り、浅野川右岸(馬場地域)の大桑層も調査していたに違いありません。なお、新種の「田上・布目・蛤」は、銚子町の「石川県自然史資料館」に展示されています。

郷土歴史研究家 亀田輝之

クロスワードパズル



答

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

 公園

(ヒント)別名エンピツ公園とも呼ばれている

→ ヨコのカギ

- ① すみやかに
- ④ ふれた時の感じ
- ⑤ 壁等を塗る仕事の人
- ⑥ 雪の上で滑る道具
- ⑦ 芸者
- ⑨ 海や湖の水際の平らな所
- ⑪ あでやかで美しいこと
- ⑫ 都会の中心
- ⑬ 寒い海の深い所に住む食用魚
- ⑭ 気体が含まれている泡
- ⑯ 団体の内部だけに通ずるうちの決まり
- ⑰ ひじ掛けのある長いす
- ⑱ 前もって知らせること
- ㉒ 周りが水で囲まれた陸地
- ㉓ 熱帯の海に住む細長い魚
- ㉔ 管理を他に移すこと

↓ タテのカギ

- ① 種子が小豆に似てる食用
- ② 刀や弓などの手で握る部分
- ③ とうとくおごそかなこと
- ⑥ 日本特産の木
- ⑧ 寝ている時、口から出る音
- ⑨ 物を食べる時に使う二本の棒
- ⑩ 一人に一人が対応すること
- ⑪ 身分・地位などが高い
- ⑫ 大豆の搾り汁を凝固剤で固めた加工食品
- ⑬ 思いがけない幸福にあうこと
- ⑮ コンクリート等で道路をかためた道
- ⑰ 本日
- ⑲ 南の海にむれをつくって住む哺乳動物
- ㉔ ほっぺとも言う

応募方法

◎郵便はがきに解答と住所、氏名、感想等を記入し、7月31日までに、次の所へお送りください。
〒920-1165 金沢市若松町3-281
NPO金沢杜の里情報公開委員会係

◎32号の正解者には、抽選で15名様に粗品を8月上旬に発送します。
◎32号の解答は、令和元年11月発行の33号に掲載します。
◎31号の解答は「ニレノキ坂」でした。

お知らせコーナー

7~10月の行事予定

◎環境保全・花いっぱい運動事業

- ・花壇の維持管理（湯水作業等）
- ・ホタルの育成・観察活動
- ・セットバック保全整備
- ・公共設備等の点検整備
- ・ベンチ塗替え、せせらぎ水路清掃

◎街づくりイベント等の支援事業

- ・若松杜の里秋祭り、杜の里小夏祭り
- ・杜の里りんぴっく、杜の里祭り
- ・児童館イベント
- ・自主防災活動
- ・金沢マラソン

◎地区計画の審査

- ・地域における建築申請の際、緑化推進の事前審査及び指導を行っています。

◎お願い

- ・自然環境と景観保全に、地権者の敷地内のセットバックの剪定をお願いします。

会員募集

NPO金沢杜の里は、どなたでも加入できます。あなた方のご加入をお待ちしております。

連絡先

特定非営利活動法人 NPO金沢杜の里
金沢市若松町3丁目281番地
電話/222-7730 FAX/262-0026

年号も令和となり、当法人の各事業がスタートし4ヵ月に入り、令和元年度の通常総会も会員さんのご協力により終えることができました。

今年度も、主体事業である「花いっぱい運動」は沿道脇に四季折々の花を彩り、緑豊かな自然環境と景観を保全し、緑と花の溢れる街づくり活動を会員一同、地域の皆さまに喜んでいただけることを目指し、一生懸命努めて参ります。

皆様の暖かいご意見、感想等が緑豊かな街づくりの励みになります。お便りをお待ちしております。

(編集後記)